

道路建設が再開されようとしています

相生山を守ってください

あなたの1筆がこの森を守る力になります



相生山の森が危機にあります

河村前市長の後継として誕生したはずの広沢市長が、多くの市民の声を十分に聞かず、相生山緑地を横断する道路建設の再開を表明しました。市民との合意形成はなく、突然の方針転換です。

本当に道路は必要でしょうか？

河村前市長は「地下鉄は延長した、環状線もできた。相生山の道路は不要」と明言していました。渋滞緩和は車線増設などで対応済み。また相生山は防災拠点であり、そこに繋がる道路はすでに存在しています。

森林を横切る新しい道路は、本当に必要ですか？

相生山は名古屋の宝です

相生山緑地は都市計画決定から68年、自然を慈しむ市民と共に残されてきました。120haを超える豊かな森には、絶滅危惧種ヒメボタルをはじめ、多様な生き物が生息しています。

しかし開通すれば――

- 1日約7,000台の通過交通
- 住宅地の渋滞・騒音・排気ガス
- 保育園や小学校周辺の交通事故リスク増加
- 森の分断・生き物の消失

が予測されています。

声を届けませんか？

私たちは、市長の決断が誤りであると考えています。だから今、撤回を求める署名活動を始めています。どうか応援してください。

☐ 署名用紙での署名

署名用紙は各団体で取り扱います

☐ オンラインでの署名

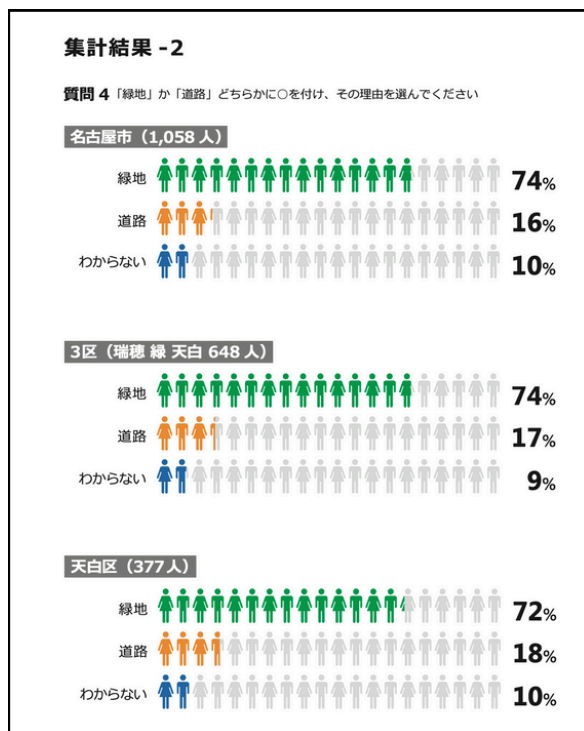
QRコードよりお願いします。

署名後、確認メールが届く2段階認証になっています。



オンライン署名

2014年 市民アンケート結果



出典：市民による住民意向調査報告書

自然は壊せば戻りません

近年の猛暑や環境変化を考えれば、緑地の価値はさらに高まっています。

それでも今、なぜ急いで道路が必要なのでしょう。市民が望む政策は他にもあります。

―相生山の森を未来へつなごう―

「弥富相生山線工事再開」撤回を求める会

aioiyama.mori@gmail.com



instagram



X

■ラブリアーアースJapan

■相生山で遊ぼう会

■相生山緑地を考える市民の会

■相生山の自然を守る会

■プロジェクト相生山

■相生山の四季を歩く会